



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関 勇一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 綿谷 努

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	12,055	44.0	173	△86.8	370	△78.0	229	△82.2
27年3月期第1四半期	8,372	△23.7	1,322	11.7	1,688	38.1	1,283	77.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	6.22	—
27年3月期第1四半期	34.88	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	102,203	43,204	42.3
27年3月期	102,395	43,539	42.5

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 43,204百万円 27年3月期 43,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期末の配当予想は未定です。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,700	11.8	0	△100.0	0	△100.0	△100	—	△2.72
通期	44,300	9.8	1,800	△34.9	1,800	△48.5	1,000	△62.5	27.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は【添付資料】P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	36,800,000 株	27年3月期	36,800,000 株
28年3月期1Q	1,244 株	27年3月期	1,244 株
28年3月期1Q	36,798,756 株	27年3月期1Q	36,798,779 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や円安、原油価格の下落等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社事業につきましては、チタン事業では、輸出向けにおいて航空機の製造は堅調に推移しており、スクラップ配合は引続き高水準ではあるものの、サプライチェーン内での在庫調整が概ね適正化したこと、また国内向けでも一般産業向け全体での需要が回復したことに加え前年の出荷がボトムヘビーで第1四半期の販売が少なかったことにもより、輸出向け、国内向け共に販売数量が大幅に増加しました。この結果、チタン事業の売上高は8,181百万円（前年同期比94.3%増）となりました。なお、輸出、国内向けともに需要回復基調が確かになったことを受け計画どおり第2四半期よりスポンジチタンの増産に入っております。

ポリシリコン事業では、半導体用ポリシリコンの需給調整継続により販売数量が若干減少し、売上高は3,274百万円（前年同期比12.7%減）となりました。

高機能材料事業では、半導体需要の増加に伴う高純度チタンでの需要増や液晶分野でのTILOP（タイロップ）の堅調な需要を主体に粉末チタンの販売数量が増加したため、売上高は600百万円（前年同期比45.6%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は12,055百万円（前年同期比44.0%増）と増収となりました。一方、利益につきましては、販売量の増加やコスト合理化による好転はありましたものの、たな卸資産評価損の戻入益がなくなったことに加え、コストミニマムでのチタン増産移行を優先し当第1四半期は在庫出荷での販売対応を行ったこと等により、営業利益は173百万円（同86.8%減）、経常利益は370百万円（同78.0%減）、四半期純利益は229百万円（同82.2%減）と減益となりました。

(参考) 事業別売上高 (単位：百万円)

		当第1四半期	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	3,280	1,629	101.3
	輸出	4,900	2,580	89.9
	計	8,181	4,209	94.3
ポリシリコン事業		3,274	3,750	△12.7
高機能材料事業		600	412	45.6
合計		12,055	8,372	44.0

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第1四半期会計期間末の総資産の残高は、102,203百万円と前事業年度末と比べ192百万円減少いたしました。これは、売掛金が増加したものの、現金及び預金、棚卸資産及び有形固定資産が減少したことが主な要因であります。

②負債

当第1四半期会計期間末の負債の残高は、58,999百万円と前事業年度末と比べ142百万円増加いたしました。これは、未払金が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は、43,204百万円と前事業年度末と比べ335百万円減少いたしました。これは、四半期純利益により利益剰余金が増加したものの、配当金の支払により利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2015年4月28日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2015年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2015年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,467	1,523
受取手形及び売掛金	12,107	16,413
商品及び製品	12,173	9,331
仕掛品	5,251	5,585
原材料及び貯蔵品	5,514	6,351
その他	843	853
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	39,355	40,055
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,211	14,029
機械及び装置（純額）	28,518	27,922
土地	16,028	16,028
建設仮勘定	557	595
その他（純額）	932	887
有形固定資産合計	60,247	59,464
無形固定資産	1,130	1,076
投資その他の資産	1,662	1,606
固定資産合計	63,040	62,147
資産合計	102,395	102,203

(単位：百万円)

	前事業年度 (2015年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2015年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,573	3,604
短期借入金	18,040	18,540
未払法人税等	426	137
設備関係支払手形	129	160
設備関係未払金	376	482
賞与引当金	393	97
事業再構築引当金	625	577
その他	958	1,523
流動負債合計	24,522	25,123
固定負債		
長期借入金	31,290	30,790
資産除去債務	1,300	1,306
退職給付引当金	1,669	1,703
その他	74	74
固定負債合計	34,333	33,875
負債合計	58,856	58,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	25,763	25,440
自己株式	△9	△9
株主資本合計	43,436	43,113
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	152	140
繰延ヘッジ損益	△49	△50
評価・換算差額等合計	102	90
純資産合計	43,539	43,204
負債純資産合計	102,395	102,203

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2015年4月1日 至2015年6月30日)
売上高	8,372	12,055
売上原価	5,879	10,743
売上総利益	2,492	1,312
販売費及び一般管理費	1,170	1,138
営業利益	1,322	173
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
為替差益	-	113
不用品売却益	31	36
受取賃貸料	11	10
補助金収入	486	92
その他	1	3
営業外収益合計	535	261
営業外費用		
支払利息	92	55
為替差損	67	-
休止固定資産減価償却費	8	2
その他	1	5
営業外費用合計	169	64
経常利益	1,688	370
特別損失		
固定資産除却損	45	21
ゴルフ会員権評価損	-	4
特別損失合計	45	25
税引前四半期純利益	1,642	345
法人税等	358	116
四半期純利益	1,283	229

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,209	3,750	412	8,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,209	3,750	412	8,372
セグメント利益	613	697	12	1,322

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

当第1四半期累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	8,181	3,274	600	12,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	8,181	3,274	600	12,055
セグメント利益	26	145	2	173

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。